

ウェルフェア イズ ラヴ

2026年3月12日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

インターネット上にこんな記事が掲載されていました。

精神疾患の専門的治療、初診からオンライン可能に…ひきこもりなど通院難しい患者も治療受けやすく

当事業所代表は個人として、「ひきこもりサポーター」としての活動も行っていますが、ひきこもりの方のご家族にとっての願いがひとつ叶う改正になると良いなと感じております。

現在、『ひきこもり』の定義は、「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学，非常勤職を含む就労，家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6カ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）を指す現象概念である。なお、ひきこもりは原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神病性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低くないことに留意すべきである。」と定められています。

このため、家族としては精神科医の診断を希望する場合も多いのですが、「家族からの相談を受けて可能性や一般的な対応方法を助言することは出来ても、本人を診察しない限り診断は出来ない。」と言われ、「外出（この場合は診察を受けに行く）ことが難しいから困っているのに…。」と壁を感じている方々も多いと聞くので、そういった方々にとって救いになる改正（運用）になることを願います。

スタッフのヒトリゴト

先日、リハビリセンターで開催されていた福祉用具の展示・体験会に行ってきました。私自身の歩行がかなり不安定になってきたから、シルバーカーを使いたいなと思って、体験してきた。来週、基幹相談支援センターの相談支援専門員さんと、福祉用具事業所の方が自宅に来てくれて、今後の手続き方法等を相談させて頂くことになった。この手続きをやったことがなく、手違いで10割負担になってしまわないか不安だったのだけれど、それを察した相談支援専門員さんが福祉用具事業者さんに連絡して下さり、場を整えて下さった。不安な気持ちをきっちりと汲み取って下さったうえでの、手厚い支援に深く感謝♪

LOVE のラブラブな実践

ある団体様から「4月に勉強会を開催して欲しい。」とご依頼を受け、資料作成を初めております。

テーマはいわゆる、「障害者の65歳問題」。

年齢的に私自身は未だ経験してない未知の世界であり、社会福祉士としても、今までこの実務や相談対応を（私は）お受けしたことが無い。

正直私にとってはかなり難しいテーマだけれど、勉強会の講師を引き受けることも、相談対応とは違うけれどもひとつの大切な『実践』そのもの。出来得る限りの準備をした上で、誠実に真摯に、出来得る限り解りやすく、参加者の方々に役立つ内容になるように務めさせて頂きたいと思います。

実はこの依頼、当事業所に来た依頼ではなく、当事業所代表自身も入会している団体の先輩からの、私個人への依頼。

正直「収益」面では「う～ん…」という依頼ではあるけれど、私に声を掛けて下さったことが何よりも嬉しく有難いですし、収益は、誠実な実践を積み重ねていった結果として後からついてくるもの。

善し悪しは別にして、折角の代表1人の個人事業所。今の私は、経営者ではなく一実践者。

与えられた大切な実践の機会を、準備を含めて丁寧に愉しみたいと思います。

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市を拠点に活動されている、「NPO法人 子育てネットひまわり」様が、4月19日まで『#はじめの100ヵ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる親子の育ち時間～』というテーマで、クラウドファンディングに取り組まれています。応援する・しないに関わらず、クラファン実施サイトに記された、想いのこもったメッセージだけでも、多くの方に読んで頂ければと思います。

[#はじめの100ヵ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる 親子の育ち時間～ | 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団](#)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

[転載や拡散、配布大歓迎！！](#)

[来週号も乞うご期待](#)